

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チームでつくる介護計画やモニタリングが職員視点、職員の満足度で作成、評価に繋がっている傾向がある。	アセスメントやモニタリングにおいて単に援助の対象者という単眼的な視点で捉えず利用者の個性、独自の考え方、価値観がある事を理解する。生活の中での生かし方が取り入れられた介護計画を作成、評価する。	1. 画一的なプログラム提供にならないよう日々アセスメントの視点を持ち、関与しながらの観察を実践する。 2. カンファレンスや申し送り、記録から目標や課題が解決に向いているかどうか理解度や考え方を確認し、共有を図りながら介護計画作成の評価をする。	10か月
2	38	3ユニットであるが他ユニットとの利用者間交流ができていない。	他ユニットへ自由に往来し、施設内の場所により景色や季節の移り変わりを感じることができる。利用者同士の交流を図り会話の機会を得ることで楽しみを増やす。	1. 3ユニットの強みを活かし、職員が利用者間の交流を図ることで生活の楽しみが増えることを理解し、自由に好きな場所への移動を見守る。 2. ユニット間のドアをオープンにし解放感ある空間、環境づくりを提供する。	3か月
3					か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。